

「令和6年度優良工場視察」

令和6年7月18日に学校給食関係者を対象として、本会取扱物資の生産・製造工程を視察し、生産に関わる情報をもとに学校における食育活動に役立てていただくため「優良工場視察」を開催いたしました。

参加者32名で兵庫県加古郡稲美町にある「株式会社印南食品 土山事業所」（旧印南養鶏農業協同組合）を視察しました。

工場では3班に分かれて、試作室、検査室、製造ラインや学校給食用物資の製造工程、衛生管理の状況を見学しました。また、鶏を捌く工程も動画で視聴しました。養鶏農家の現状は、「365日休みがない」等の理由で後継者がいないという生産者が多いという問題も知ることができました。また、印南食品は養鶏農家から排出される鶏の糞を肥料とするなど、循環型農業の取組みにも積極的に取り組んでいるという説明がありました。

「給食で使用している物資ができるまでの様子がよくわかった。衛生管理においての設備や作業の工夫も知ることができた。鶏肉についてのお話も興味深く、私たちの食卓に上がるまでの様子はとても勉強になった」「養鶏農家の減少などの課題解決にも関わっていることもすばらしい取組と思った」「命を頂いているということをより実感できた内容だった」「給食の食べ残しがあたりまえではなく、ありがたく頂くという指導につなげていく」「チルドでなく冷凍で発色剤等を使わず、細菌数をおさえられていること、食の安全性を考えてつくられていることがよくわかった」等の感想がありました。



